

あつぎ観光ボランティアガイド協会ニュース



飯山の口ウバイ
(撮影：小林会員)



令和8年2月号 Vol. 262

(2026年)

発行：令和8年2月10日

あつぎ観光ボランティアガイド協会

ホームページ <https://atugikanvola.sakura.ne.jp>

メールアドレス atugikanvola@yahoo.co.jp

発行責任者 会長 田頭 文昭 編集担当者 澤田 正弘

《飯山白山・桜山と口ウバイ鑑賞》

行事区分：企画ガイド（ハイキング）

日 時：1月20日（火）9:30～15:00

場 所：飯山地区

参 加 者：25名、会員9名

ルート> 中飯山自治会館前～口ウバイの丘～桜の広場～飯山観音～もみじスポット
(昼食)～桜山(280m)～白山神社～白山池～白山(284m)～展望台
～男坂～桜の広場(解散)

外気温は低かったのですが良い天気になりました。バスで来られたお客様が揃い、中飯山自治会館前で受付、資料配布を行い、金剛寺入口で朝礼、体操、集合写真撮影を行いました。ここから2班に分かれて、ハイキングを開始しました。金剛寺の手前を左に折れ坂



を登ると、口ウバイの丘に着きました。口ウバイは黄色い花びらが蝶細工やミツバチが出す蜜蝱のようにきれいで甘い香りがします。このエリアには1000本の口ウバイがあるそうです。全員思い思いに散って口ウバイを見たり、匂いを嗅いだりしていました。前年に咲いた種を持ち帰る参加者がいました。一晩水に漬けてから種を撒くと良いことです。自宅で蠟梅が咲いて良い香りがするなんて素敵だと思います。

桜の広場のベンチでひと休み。皆様にハーブティーとお菓子を提供しました。そして飯山観音への階段を上り、今回のハイキングで唯一ガイドを行う飯山観音の観音堂の広場に着きました。昨年は開山1300年記念で春と秋に特別御開帳を行なったこと、東方向

には横浜ランドマークタワーなどが見えること、銅鐘が製作された由来、春日灯籠の白鹿の由来、常香炉についている寺紋の由来、回向柱では皆様に触っていただきました。多分御利益があるのでないでしょうか。観音堂の前では皆様に参拝をしていただきました。

観音堂裏から七沢森林公园のもみじスポットに向かいました。途中で「目隠し散歩」がありました。2人一組で一人がひもや声で合図しながら進むという体験でした。もみじスポットで昼食となりました。



目隠し散歩の様子

いよいよ今回のルートで一番厳しい桜山への登坂を開始しました。かなりの急な登りが続きます。白山頂上に着き一休みし、そこから白山神社、白山池、白山頂上と尾根を歩き白山展望台に着きました。ここからは東南方向に展望が開けて、厚木市はもとより東京、横浜、三浦半島、江の島などを見ることができました。



飯山観音でのガイド

下りは男坂を下りました。階段の土が流れてしまって土留めの丸木が凸になっていました。歩きにくかったので、一步一步ゆっくり下り、無事に観音堂の裏にたどり着きました。トイレのある桜の広場で解散になりました。事故やトラブルが無かったのは、会員の的確なリードがあったからこそと思います。お疲れ様でした。

(澤田 記)

《新年会》

行事区分：懇親推進

日 時：1月22日（木）12:00～14:00

場 所：七沢地区 和風料理「おかめ」

参 加 者：12名

2026年の新年会が例年の七沢温泉から「和風料理おかめ」に移して開催されました。今年の参加者は12名と少なく少し寂しいスタートになりました。

会長からは「午年にふさわしく企画ガイドも新しい試みを取り入れ飛躍の年にしたい。」との話があり参加者全員で確認して乾杯しました。

猪鍋、鮎、お刺身、天ぷらの後、各々1人前のうな丼を頂き昼ご飯としては食べきれない料理でした。ご主人からは厚木で商売をスタートし、七沢でのお店を始めるまでの戦後の厚木の様子が分かる貴重なお話を聞きました。



例年通りの終盤のクイズは、厚木市70周年記念に発刊された「厚木人」の内容からの出題でした。私も中身を熟読したつもりでしたがなかなか正解を出すことができませんでした。最後は全員で「上を向いて歩こう」、そしてボーカルで食事の最後に合唱する「デザートソング」で本日の料理のお礼をして、全員で集合写真を撮りお開きとなりました。

参加者が少なく残念でしたが来年の新年会も賑やかに開催されると良いなと思いました。
(小林 記)



ご主人



《かながわガイド協議会幹部研修会》

行事区分：かながわガイド協議会研修（実施団体 NPO 法人横浜シティガイド協会）

日 時：1月30日（金）9：45～14：30

場 所：かながわ県民センター

参 加 者：会員2名

午前は、かながわガイド協議会三村信会長と担当団体の横浜シティガイド協会小金眞会長の挨拶の後、公益財団法人2027年国際園芸博覧会協会太田喜久広報・報道部長兼入場券部長による講演「GREEN×EXPO2027の機運醸成について」がありました。博覧会の概要、理念、広報等機運醸成の進め方等について熱く語られました。

午後は2つのグループに分かれ、それぞれ別の会議室で「会員の高齢化に寄り添う持続的なボランティアガイド活動を目指して」をテーマに分科会が行われました。

新人募集は厚木でも大きな課題ですが、働き方の変化により、以前は60歳代での応募が多くかったが、最近は60歳代は少なく70歳代の応募が多くなっている。仕事を持ちながらの会員が増えている。土日の活動を増やし、若い会員が増えている。ガイド養成講座を有料にし、応募者が増えた。参加費も2,000円、4,000円～25,000円、30,000円と様々。聴覚障害者の応募者に面接時手話通訳を入れ対応した事例では、聴覚障害者の会員に企画ガイドで手話通訳の役割を担ってもらうことを期待しているとのことでした。

ここ1年のトピックスでは、「猛暑対策で夏季は企画ガイドを行わない。」「企画ガイドの参加費の徴収や活動費の支払いのキャッシュレス化」などの事例が紹介されました。分科会の後、全体会議で報告し、閉会。

切実な課題について、他団体の状況、対応、考え方等を伺えた貴重な機会でした。

(清田邦男 記)



最 近 の 活 動

日付	場所	内 容	参 加 者
1月 10日	アミューあつぎ	定 例 会	会員 16名
1月 13日	飯山地区	企画ガイド 下見 「飯山白山・桜山ハイキング」	会員 7名
1月 20日	飯山地区	企画ガイド 「飯山白山・桜山ハイキング」	会員 9名
1月 22日	七沢地区	新年会	会員 12名
1月 30日	横浜市	かながわガイド協議会	会員 2名
2月 1日	市内5拠点	冬季観光客入込調査	会員 10名
2月 4日	厚木地区	企画ガイド 下見 「渡辺峯山の足跡と大山道」	会員 6名
2月 5日	相川公民館	編集会議	会員 3名

編 集 後 記

市政記念日（2月1日）に厚木市の鳥が「エナガ」に決まりました。スズメより小さくて可愛い鳥です。「ジュルッ、ジュルッ」と鳴くそうです。ハイキングに行った時に探してみましょう。飯山白山・桜山のハイキング企画はロウバイ人気で大勢の方の参加をいただき、無事に終了しました。参加の会員の皆様ご苦労様でした。

編集委員 小林 直樹 澤田 正弘 清田 邦男